



よらよら  
いーや  
いーや

# 公民館



## こんな場所でチヌが！

先日、仕事を終えて駐車場を歩いていたら、町外者と思われる3人の若者が、公民館の前の日置川で魚釣りをしていました。すると、いきなり「魚が釣れた」と言って騒ぎ出し、チヌが釣れたと叫んでいます。私は、こんなところにチヌはいないだろうと言ったのですが、隣にいた職員がスマホで写真を撮って『Google レンズ』で検索すれば分ると言うので、調べてもらいました。すると、本当にチヌだと判明し、三人は大喜びでした。そこですかさず、

「この前、土手の草刈りをしたんですよ。すごい草で、降りて魚を釣れるような環境じゃなかったからね。」

と恩着せがましく言うと、釣り上げた若者は、

「草刈りしていただき、有難うございました。お陰でチヌが釣れました！」と素直にお礼を言ってくれました。

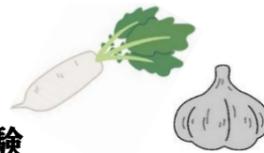
チヌは想定外でしたが、改めて草刈りはやっておくものだと思います。



小さくてもチヌ！



## とくさんの田んぼ日記



初めてのお手伝い トラクター・田植え機体験

まずはトラクター。運転する分にはさほど問題はありませんでしたが、きれいにできたかと聞かれると「ウン…」となります。土を起すためのロータリーが後ろに付いているので、最初と最後の部分がうまく耕せていないかも知れませんが、取りあえずできました。

次に代掻きという作業がありますが、諸事情により体験はできませんでした。

そしていよいよ田植えです。最初に田植え用の長靴を貸していただきました。普通の長靴では埋もれて靴の中に泥水が入るそうです。田植えも機械を使うので、素人の私にはさせてもらえないだろうと思っていたのですが、私が作業すること



初めての田植え機

で、少しでも楽になってもらえたらと思い、挑戦してみることにしました。目印に沿って真っすぐ植えるだけなら比較的簡単ですが、最後の方向転換が難しく、端っこの方に植えてないところや2回植えたところができたりして大変でした。なるほど、区画整理をして長方形にすると、機械の取り回しが格段に楽になると、身をもって体験できました。とにかく田植えも終わりました。稲が大きく育つと、植え方の不細工さがはっきり分かるでしょう。ちょっと恥ずかしいですが……。



初めての耕うん機

## シリーズ 知っていただけ、青谷のこと？ 鳴り砂は、青谷の浜ならどこでも鳴るわけではない？

6月8日に、青谷海岸の鳴り砂クリーン作戦に参加しました。階段を下りて砂の上を歩いたのですが、ザクザクという音で、鳴り砂特有の「キュッキュッ」という音ではありませんでした。作業が終了したときに主催者のあいさつで、

「今日、砂の上を歩くと、鳴りましたよね!!」

と言われたので、

「おかしいなあ、鳴らなかったけどな……」

と思いました。全日程が終わってから主催者に鳴らなかったことを話すと、砂が波で洗われて鳴るようになるのだから、砂浜の波打ち際から波が届く所までで、乾いている所でないと鳴らないと言われました。そこで、階段下から波打ち際に近い方へ歩いていくと、あのキュッキュッという昔懐かしの音が聞こえるではありませんか！鳴り砂が鳴る条件は何度も聞いたことがありますが、実際に歩いてみて、やっと本当の意味が分かりました。青谷の海岸ならどこでも鳴るというわけではなく、鳴る所は限られているのです。因みに、音の高低については、汚れてくるとだんだんと高い音になり、さらに汚れると小さい音になってやがて鳴らなくなるということです。

「知らなかった……。」

皆さんは、同じ砂浜でも鳴る所と鳴らないところがあるのを知っていただけましたか？たまには砂浜を歩いて、音を聞いてみてはいかがでしょうか？

## ペットボトルキャップ回収

青谷町更生保護女性会が、社会を明るくする活動の一環としてペットボトルキャップの回収を始めました。

公民館入口に箱を置いてあります。集まったものは「小さな親切運動(山陰合銀)」に持って行くそうです。

## 駅前の菖蒲綱引きがテレビに！

菖蒲綱引きについて、宝木と駅前を取り上げた30分番組が日本海テレビで放送されます。ぜひご覧ください。

☆7月13日(日)午後5時～5時30分

(笑点の前)

☆日本海テレビの「新ふるさと百景」

## おわりに

「健康ゲーム 太鼓の達人」という事業を行っています。太鼓の達人は、ねんりんピックの正式種目にもなっています。私は時々様子を見に行きますが、盛り上がっているので私も時々ゲームに参加させてもらいます。本気で向かって行っても、最近ではずっと負けてばかりです。頭と体を使うことは、フレール予防にとっても意味のあることだと思いました。こっそり練習しようか……。